

鳥羽市英語教育推進計画

令和2年4月

鳥羽市教育委員会

目 次

	Page
<u>1 鳥羽市英語教育推進計画について</u>	<u>1</u>
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画の位置付け	1
(3) 計画の期間	1
<u>2 鳥羽市が目指す英語教育</u>	<u>1. 2</u>
<u>3 英語教育推進目標と施策の基本方向</u>	<u>2. 3</u>
<u>4 施策の概要</u>	<u>3. 4. 5</u>

1 鳥羽市英語教育推進計画について

(1) 計画策定の趣旨

文部科学省は、平成 25 年に「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を発表した。この計画においては、小学校中学年から外国語活動実施、小学校高学年の教科化、中学校英語教育の高度化等が打ち出されており、令和 2 年度より小学校で、令和 3 年度より中学校で新学習指導要領が全面実施される。新学習指導要領においては、各学校段階の学びを接続させるため、国際的な基準を参考に、小・中・高等学校で一貫した「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の五つの領域別の目標を設定している。

鳥羽市では、新学習指導要領全面実施に伴い、小中学校の英語教育の充実・強化を図るために、本計画を策定するものである。

(2) 計画の位置付け

この推進計画は、「鳥羽市教育振興基本計画」を踏まえ、本市の英語教育の充実を目的として、学校教育分野における具体的な方策や施策を示したものである。

(3) 計画の期間

計画期間は令和 2 年度から令和 7 年度までとする。

2 鳥羽市が目指す英語教育

世界は近くなった。通信技術や移動手段の発展により、世界は一瞬で繋がりより速くより安価に地球規模での移動が可能になった。

2013 年に初めて 1 千万人を超えた訪日外国人客は、2019 年にはあっという間に 3 千 100 万人を突破するまでになった。

また、日本に在留する外国人は 2019 年には 280 万人に達している。スポーツ界やエンターテインメントの世界でも、外国にルーツを持つ日本人の活躍が大きく取り上げられることが多い。言うまでもなく、グローバル化は顕著で、経済や安全保障面でも、うまく世界と繋がらなくては、独立国家としての存続も危ぶまれる時代になっている。

鳥羽市においては、1966 年、アメリカ・サンタバーバラ市との姉妹都市提携を結び 2 年後の 1968 年からは中学生を中心とした中学相互派遣事業を今日まで続けている。

1977 年には、国際観光文化都市として政令指定を受けており、近年では、伊勢神宮式年遷宮、伊勢志摩サミットなど世界的なイベントの開催を受け、毎年 10 万人近い外国人観光客が訪れている。

単に語学を操るだけなら AI や翻訳機を利用すれば事足りるかもしれないが、求められているのは、多文化共生、異文化理解である。これらが根底にあるからこそ「外

国語教育」を推進する意義がある。「英語教育」は、その重要なツールとして位置づけたい。

郷土愛に溢れた鳥羽の子どもたちが、諸外国や諸地域の歴史や文化にも同様の敬意をもち友好的関係を築ける。このようなねらいをもって持続可能な英語教育を推進していきたい。

I 人と主体的・積極的に関わろうとする態度を養う

小中英語教育を通して外国語や異文化への興味関心、学習意欲をもち続けるとともに、人と主体的・積極的に関わろうとする態度を養うため、直接外国人と英語で交流する機会を設定する。自分から外国人に英語で話しかけたりする中で、ジェスチャーやアイコンタクト、豊かな表情を工夫し思いを伝えようとする態度を身に付けさせる。また、考えたことや調べたことを英語で人に伝える場を設定する。これらの活動を通して、英語を使って世界とつながる喜びや、言葉が通じた充実感、主体的に英語を学び続けていこうとする態度を育てる。

II 英語を運用する力の基礎を養う

小中連携を図った英語教育を通じて、小学生が「英語を学ぶことはおもしろい」「中学生になったら英語をもっと学ぶことが楽しみ」と興味関心を持ち、中学生が「小学校の学習とつながっていてよくわかる」「英語をもっと使えるようになりたい」と学習意欲を高める姿を目指す。

III 思いや考えを伝え合う力を育成する

授業において、学んだ英語を使って自分のことを話す、学習した成果を英語で発表する、児童生徒同士が英語で意見を交流する、といった活動を通して、児童生徒が英語を通じて思いや考えを伝え合う力を育成する。お互いの思いや考えを理解し、共に学び合おうとする態度を養うことを目指す。

3 英語教育推進目標と施策の基本方向

(1) 英語教育推進目標

国際観光文化都市に資する人づくりおよび鳥羽の将来を担う子どもたちの国際的なコミュニケーション力の育成のため、鳥羽市の英語教育を推進する。

(2) 施策の基本方向

○基本方向1 英語教育の指導体制の確立

これまでも取り組んできたALT（外国人指導助手）の配置を継続し、小中学校の教員が主体となって、ALTと協働して授業を行う指導体制の充実を図る。

○基本方向2 英語を用いたコミュニケーション活動の推進

英語を実生活で用いて、英語で思いや考えを伝え合う経験を積めるようにするため、ALTや外国人観光客等と英語を用いて交流する機会を増やしたり、考えたことや調べたことを英語で人に伝える場を設定したりして、自然に英語を使う経験を充実させる。また、幼稚園にもALTを配置することで早期から英語に触れ、慣れ親しむ機会を設ける。

○基本方向3 小中高で一貫した英語教育の推進

小中学校担当者合同の研修や各小中学校間での授業交流を通して、相互の英語教育や児童理解・生徒理解を深めるとともに、英語教育にかかる小中学校の円滑な接続について連携を図る。また、高等学校とも連携した事業を行い、小学校から高校までの一貫した英語教育を実現させていく。

○基本方向4 検定事業の推進

さまざまな英語に関する資格・検定に取り組みさせることで、学んだ英語を実用的に使用することについての関心を高めることを図る。

4 施策の概要

本計画期間中に取り組む諸施策について、以下の内容を基本として推進する。なお、各施策は予算措置を担保するものではなく、財政負担を伴うものについては、別途予算化に向けた協議・調整を行うものとする。

○基本方向1 英語教育の指導体制の確立

目標 指導体制の充実・強化

方針

小中学校におけるALTの配置により、授業の充実・強化を図る。また、新学習指導要領の実施にあたって、小中学校の教員が主体となった指導体制を確立する。小学校ではクラスルームイングリッシュを用いた授業展開、中学校ではオールイングリッシュでの指導体制を確立する。

内容

- ・すべての幼稚園・小学校・中学校にALTを配置する。
- ・英語モデルスクール事業を行い、英語教育にかかる研修を充実・強化し、小中学校教員の共通理解と指導力向上を図る。

○基本方向2 英語を用いたコミュニケーション活動の推進

目標 英語を使ったコミュニケーション活動の充実

方針

児童生徒が外国人と過ごす機会や、英語で交流する機会を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また、英語を使ってのコミュニケーション活動、思いや考えを発表する活動を小中学校で推進する。

内容

- ・幼稚園・小中学校に ALT を配置し、外国人とのコミュニケーション活動を充実させる。ALT 配置日には、休み時間や昼食時間に児童生徒や教員が ALT と英語で交流し、英語を使って自然に会話ができるようにする。
- ・イングリッシュデイ事業において、ALT と1日中英語でコミュニケーションを取る活動や英語を使っての学習発表を行い、外国人との自然なコミュニケーション力の育成を図る。

○基本方向3 小中で一貫した英語教育の推進

目標 小中で一貫した英語教育のための研修の実施

方針

小中学校担当者合同の研修や各小中学校間の授業交流を通して、児童理解・生徒理解を深めるとともに、英語教育にかかる小中学校の円滑な接続について取り組みの連携を図る。

内容

年間を通して、各小中学校の英語教育推進担当者を対象に、各小中学校での授業交流や合同の研修会を行い、よりよい授業づくりについての研修を推進する。

○基本方向4 検定事業の推進

目標 実用的な英語使用への意欲の向上

方針

さまざまな英語に関する資格・検定に取り組みさせることで、学んだ英語を実用的に使用することについて、児童生徒が意欲・関心を高めることを図る。

内容

英語検定チャレンジ事業を行い、小学校においては「聞くこと」、中学校においては「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の実用的な英語使用についての関心を高めることを図る。

○基本方向5 鳥羽市ならではの授業スタイルの構築

目標 少人数学級や複式学級での効果的な英語学習

方針

三重県教育委員会事務局の方針に則り、少人数での英語学習を効果的なものにするとともに、複式学級における授業スタイルを構築する。

内容

鳥羽市内での教員研修や三重県教育委員会主催の研修会を通して、小学校教員と中学校教員が意見交流をしながら、鳥羽市ならではの効果的な授業を構築する。

鳥羽市英語教育推進計画

発行日 令和2年4月

発行 鳥羽市

編集 教育委員会事務局 学校教育課

〒517-0022

鳥羽市大明東町1番6号

TEL 0599-25-1265

FAX 0599-25-1263

E-mail shidou-s@city.toba.lg.jp